

# 留学生新聞

第9号 2007年07月23日発行

〒512-8512 四日市市萱生町1200 留学生支援センター

四日市大学留学生会

Tel: 059-365-6793(代)

Mail: g4203015@edu.yokkaichi-u.ac.jp



皆さん、お久しぶりです!また、皆さんに留学新聞を送ることができてとても嬉しいです。日本の夏になれましたか?これからもっと暑い日続きますが、体調を崩したりしないように注意してください。不快指数ふかいしすうの高い日本の夏は、体を受けるストレスも多し、どうしても疲れやすいです。特に夏が苦手ねっちゅうしょうの人は熱中症などに気を付けて、皆さん元気に過ごしてくださいね!いよいよ期末テストに入りますので、アルバイトしながら、勉強するのは大変だと思いますが、頑張ってください。本紙に掲載けいさいする多くのニュースと就職情報せいじょうが皆さんのお役に立てれば幸いです。毎回皆さんからご声援せいえんを頂いてありがとうございます!今回どうぞ宜しくお願いします!

【編集部・馬暁セイ(中央)、王文娟(左)、劉藍(右)】

## 新入生歓迎会

総合政策学部総合政策学科2年 エムディーモホシン・ミアジ

2007年6月2日、わたしたち留学生は、新入生歓迎かんげいをかねて留学生交流会を開催しました。中国、台湾、ベトナム、バングラデシュ、インドネシア、スリランカ、ネパール、フィリピンの留学生たちが、食堂に集まり、楽しいひと時を過ごしました。その準備のため、わたしたち留学生会は、何週間も前から支援センターに集まって話し合いをしました。そして、自分たちでグループに分かれ準備を進めることに決めました。買い物係、荷物を運んだり会場レイアウトをする係かか、名札づくり、司会者担当、企画担当に分かれそれぞれが準備を進めて当日の朝を迎えました。

交流会には、宗村学長にもご出席いただきました。宗村学長

からは「厳しい留学生生活が続けながら勉学に専念する為にも、何より健康に留意し、困った時には留学生支援センターをはじめ教職員に相談してください。」という温かいお言葉をいただきました。その後、みんなで食事やお菓子を食べました。今年は、茶道部や装道部、囲碁部が交流会に参加し、日本文化をわたしたちに紹介してくれました。その後で、わたしたちのお国紹介も行いました。参加国は、中国、ベトナム、バングラデシュです。中国の遊び「毛まり」、ベトナムの「なわとび」、バングラデシュの「結婚式」などを簡単に紹介しました。

最後に、みんなで抽選会ちゅうせんかいをして「国際ソロプチミスト三重一北」さんから頂いた、プレゼントを分けました。お米や石鹸、洗剤などの生活用品や絵画、陶器などわたしたちには嬉しいプレゼントでした。あっという間に時間が来ました。とても楽しかったです。交流会は大成功でした。



# 旅研 行修

## スキー

経済学部経済学科二年 輝静



「あゝスッカリ!スッカリ!」三日目の日にやっと上から下まで滑れるようになった。その時のうれしさや達成感、スキー旅行が終わってしまう寂しさなど複雑な気持ちだった。

「スノーマンの家へ遊びに行かない?」、「???何?スノーマンの家ってどこにある?」、「スキーしに行くことよ」と行く前に、先輩との話しを思い出したりしながら、なごりお名残惜しく別れたくなくて、帰りにホテルの周辺で写真を撮ったり、いろいろ見たりしていた。出発前のこと全ての用意ができて、「いよいよスノーマンハウスへ」。今年も私の第二故郷一長野県の車山高原へ行くことになっている。バスで三時間ほど乗り、ようやく着いたのは午後の一時半ぐらいだった。注意事項を聞き、着替えは大変だった。初めてスキーウェアを着ることで、ブーツが硬くて、履き方もよくわからなく、足に申し訳ないことをしてしまった。(笑)



一日目、初心者なので、まず基本を学んで、決められたところで‘自由’に滑っていた。熱心な先生の指導の下でだんだん上手に滑れるようになった。二日目、せっかく頂上に行けるように上達してきたのに、雨と風のせいでリフトが止まってしまった。そしてみんなが自分の足で、板を持って、上へ登っていった。登るときは、十分、二十分も時間がかかっていたのに、降りるとき二、三分もかからなく、滑ってきた。こういうことを何回も繰り返した。登るたびに「これは人生のようだ」と思っていた。このプロセスは決めた目標に向かって、努力、たいきゅうしん にんたいりょく耐久心、忍耐力などが表れたと私は思う。どこかで倒れたら、どこかでもう一度立ち、あきらめず、最後まで頑張って、その達成感を味わうことができると思うし、自分にとっては、何が一番大切なのか、何を求めているのか、もう一度見つめられると思う。三日目、天気良くて、順調に滑っていた。山頂から下まで、滑ってきた気持は最高。

短い時間だったけれど、リフレッシュができて、今の自分ももう一度見つめ直すことができた。そして、夜にたくさん友達と一緒にゲームをしたり、話しをたりした。平日、みんなはバイトで忙しいので、あまり遊べないが、この機会に交流も出来て、本当に良い旅だと思うので、皆さん、ぜひ参加してね!



## 全日本着物装いコンテスト世界大会 —— 沙 シンさん準優勝受賞 ——

2007年4月1日東京NHKホールで開催された世界大会へ出場した経済学部経済学科2年沙 シンさんが見事に外国人の部二位を授賞しました。おめでとうございます!

準優勝沙 シンさんのコメント「学校の茶道体験したとき、着物を着ている先輩の姿を見て美しいと思って、それが着物を好きになったきっかけだった。今回一位を取れなくて、悔しかったが、参加したことで、日本の文化に触れることができ、自分も成長し、いい思い出ができました。」



# 2007 年度前期留学生奨学金授与情報

## 国際ソロプチミスト三重一北奨学金

2007年4月5日本学にて、国際ソロプチミスト三重一北奨学金の授与式が行われ、会長水谷 康子様より、環境情報学部メディアコミュニケーション学科4年の馬 暁セイ(マ ギョウセイ)さんに手渡されました。この奨学金は、学業・人物とも優秀で且つ、国際理解及び日本との友好、親善に関心を持った、女子外国人留学生に贈られます。馬 暁セイさん、おめでとうございます。

受賞者の声「この奨学金を頂き、誠にありがとうございます。これから社会に貢献できるような女性を目指して、勉学など頑張りたい」と。



## 平成 18 年度私費外国人留学生成績優秀者(後期)奨学金授与式

2007年5月17日(木)、平成18年度成績優秀者(後期)奨学金の授与式が行われ、教学部長の岩崎恭典先生より受賞者6名に手渡されました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。受賞者は下記のとおりです。

| 学部   | 学科   | 学年 | 氏名            |
|------|------|----|---------------|
| 経済   | 経済   | 2年 | 姜 穎(キョウ エイ)   |
| 経済   | 経済   | 2年 | ドゥンゴック タイン    |
| 環境情報 | 環境情報 | 3年 | 陳 梅桂(チン バイケイ) |
| 環境情報 | 環境情報 | 2年 | 王 心悅(オウ シンエツ) |
| 総合政策 | 総合政策 | 3年 | 王 聡(オウ ソウ)    |
| 総合政策 | 総合政策 | 3年 | 王 文娟(オウ ブンケン) |



## 平成 19 年度四日市大学私費外国人留学生給付奨学金授与式

2007年6月27日(水)、平成19年度四日市大学私費外国人留學生給付奨学金授与式が行われ、学長 宗村南男先生より受賞者10名に手渡されました。受賞者のみなさん、おめでとうございます。受賞者は、下記のとおりです。

| 学部   | 学科     | 学年 | 氏名            |
|------|--------|----|---------------|
| 経済   | 経済     | 3年 | 韻 文栄(イン ブンエイ) |
| 経済   | 経済     | 3年 | 姜 東源(キョウトウゲン) |
| 経済   | 経済     | 2年 | ファム マンクーン     |
| 経済   | 経営     | 3年 | 高 ブン(コウブン)    |
| 経済   | 経営     | 3年 | 孫 暁丹(ソンギョウタン) |
| 経済   | 経営     | 3年 | チャン チョンバン     |
| 経済   | 経営     | 2年 | 胡 雁冰(コガンヒョウ)  |
| 経済   | 現代ビジネス | 3年 | 譚 杰(タンケツ)     |
| 経済   | 現代ビジネス | 2年 | 尹 景輝(インジンフェイ) |
| 環境情報 | 環境情報   | 3年 | 呉 暁華(ゴキョウカ)   |



# 留学生就職情報

## 留学生生活を無駄にしないでください

総合政策学部 4年 崔 虎

皆さん、こんにちは、私は、現在、総合政策学部4年に在籍している崔虎と申します。今回は、ほんのわずかではありますが、今までの留学生活の経験から得たものを、簡単に後輩たちにお伝えしようと思っております。少しでも今後の留学生活に、ご参考になっていただければ何よりも有難く思っております。後輩の皆さんは、学校の授業に積極的に参加していますよね？アルバイトなどで大変かも知れませんが、卒業された先輩たちを含め、留学生のほとんどが同じ状況で頑張っております。愛する家族や友人たちの元を離れ、遙々遠くから日本にやってきたのではないのでしょうか。振り返るたびに、思わず何か胸にぐっと来ますね？このような悲しみにも苦しみにもしみ込みせず、ここまでやってきたということは、他の学生には決してない一種の心強いものを、私たち留学生全員が持っていると言っても過言ではないと思っております。

留学の動機は違っても目指すのはただ一つ、つまり、「自分の未来のためである」のではないのでしょうか。大学卒業後、進学か就職か迷っている人はたくさんいると思います。社会人に一番短い距離にある大学生だけに、そろそろ自分で物事を考え、善し悪しの見分けをつけるようにならなければなりません。本当に大学で学んだ知識を将来の活躍舞台で思う存分に活かしたいのなら、気を引き締めてください。「苦があれば楽あり」という言葉があります。努力は決して嘘をつきません。良い結果は私たちの努力に大きく関わっております。是非、頑張っ

以下の記事はメディアチャイナ発行「留学生新聞」からの転載です。

## 美術品販売の葵美術が社員とアルバイトを急募

インターネットやオークションで美術品を販売する葵美術(東京都渋谷区)では、正社員とアルバイトを同時に募集している。同社には消費者から毎日約4千件のアクセスがあり、中国人スタッフも勤務している。業務内容は商品の写真撮影及び画像処理。採用に際して年齢は不問だが、各人の経験と能力を重視し待遇は面談により決定するという。希望者はまず電話かメールで問い合わせのこと。

■応募問い合わせ先：TEL:03-3375-5553

■メールアドレス：info@aoi-art.com

■ホームページ：http://www.aoi-art.com/



(崔虎さんは来年株式会社 イオンに入社予定)

いただきたいと思います。さらに、本当に大学生らしい社会人として生きていくのなら、大学の知識だけではなく、ニュースや新聞や社会のマナーなど、社会勉強にも積極的に取り組んでください。「郷に入れば郷に従え」という言葉があります。来日した以上、日本の常識に外れることは決してしてはいけません。日本人の立場になって考えてみれば、十分わかっていただけたと思います。留学生として自覚というものを持ってほしいです。

最後に、同じ苦勞を味わっている留学生として、本当に皆さんが、進学であれ、就職であれ、いち早く自分たちの目標に順調にたどり着くよう心から強く願っております。皆さん、一緒に頑張っていきましょう！

## 天然石の貿易・施工企業が人材募集

高性能の天然石や磁器質タイルの貿易・施工などを請け負っている(株)タマ・アンド・ミラトン・ジャパン(横浜市中区)が、社員を募集している。社名の一部にもなっている「ミラトン」とは一般の天然石に比べ強靱に優れている石で、建物の内外装や壁床材として活用されている。同社はこうした領域で王子製紙、タカラ、杏林製薬など国内の有力企業への納入実績をもち、将来的にも同事業の発展が見込まれるという。今回募集するのは年齢が20~38歳で、日本語が流暢な人。経験者優先なので日本または出身国で、応募職種と同じ職務経験を有する人が望ましいとのこと。新卒者も可。詳細は下記まで。

■応募職種：会計、営業、現場管理、施工

■応募問い合わせ先：045-662-5636(担当/呉または王野)

■ホームページ：http://www.tama-miratonjapan.co.jp/

## ●私大の留学生総数 上位の顔ぶれは変わらず 2TOP は早大と APU~ 本紙調査

「留学生新聞」ではこのほど全国の主要私立大学の協力を得て、今年4月入学生を反映した最新の留学生在籍総数についてアンケート調査を実施した。集計結果によると、学部と大学院に在籍する留学生の総数が多い私大の2トップは早稲田大学(2435名)と立命館アジア太平洋大学(2352名)で、両校だけが2千名の大台を越えている。以下、本紙が調査した範囲内で、大阪産業大学(1269名)、国土館大学(1239名)、立命館大学(1024名)などが受け入れ千名以上。昨年時点で千名前後の留学生を受け入れていた主要私大で、今年になってから受け入れ総数が大きく変化した大学は他に見あたらないことから、秋以降にまとまる今年度の留学生統計でもこうした顔ぶれが上位に並ぶことは確実な情勢だ。上記以外で、昨年に比べ留学生数の伸びが目立った受け入れ500名以上の私大を挙げると、尚美学園大学(515名)、東洋大学(542名)、明治大学(626名)、敬愛大学(690名)などとなっている。

(注)上記の留学生総数は、各大学における「留学」ビザ保持者の総数で、交換留学生、大学院生なども含めた数(但し本紙調査では日本語学習を主目的とする別科生を総数から除外している)。また基準時については、本年5月時点で文部科学省に報告された実数、または最新の数字のいずれかとしており、各大学によって扱いが異なるため、(独)日本学生支援機構の統計と単純な比較はできない。

## ●外国人留学生の採用意欲 上場企業でも高まり

経済産業省では「日本企業における外国人留学生の就業促進に関する調査研究書」をまとめ公表した。文部科学省と連携し、留学生に対し人材育成から就職支援までパッケージで支援を行う「アジア人材資金構想」の実施に先駆けおこなったもので、上場企業3500社に対し調査している。それによれば新卒採用でグローバル人材の獲得を考えている企業が全体の72%を占め、「日本に留学し大学等を卒業した外国人」の採用を想定している企業も37%に及んだ。その一方で企業側が留学生等に求める日本語のレベルは極めて高く、日本のビジネス文化への理解や協調性、企業への定着率といった点を不安材料としてあげている。逆に元留学生からは、日本企業が求める人材像の明確化や日本人社員の異文化理解を求める声が多いという。経済産業省では学習コンテンツを提供し、留学生の能力の活性化をおこなっていくことなどを今後の検討課題として挙げている。

## ●外国人登録者数 が史上最高を更新

# ニュース

日本における外国人登録者の数が昨年末、史上最高の数を更新した。法務省入国管理局によれば平成18年末時点の外国人登録者は208万4919人となり、平成17年末に比べ7万3364人(3・6%)増加し、200万人を突破した後も順調に増え続けている。直近の10年間でみても、その数は約1・5倍に拡大しており、日本の総人口に占める割合は1・63%まで上昇した。出身国・地域別でみると歴史的経緯から多い韓国・朝鮮の出身者が万8219人と依然として最多だが、近年は高齢化などに伴い毎年減少の一途をたどっている。逆に2位の中国出身者は同18年も対前年比7・9%増加しており、56万741人。韓国・朝鮮との差は年々縮小しており、ここ1~2年内の首位交代が確実な状況だ。以下、ブラジル(31万2979人)、フィリピン(19万3488人)、ペルー(5万8721人)、米国(5万1321人)と続く。

## ●JASSO 恒例の進学説明会が開幕

7月1日、恒例の「外国人学生のための進学説明会」が開幕した。(独)日本学生支援機構留学情報センター(JASSO)が毎年開催しているこのイベントは、外国人向けの進学説明会としては国内最大規模。当日は、各大学の最新パンフレット、留学生入試の募集要項などが入手できるほか、特設コーナーにおいては日本留学試験の過去問題集や入試関連資料も購入可能とあって、今年は2548名(東京会場=主催者発表)が来場する盛況ぶりだった。東京会場では来場者の大多数が首都圏エリア在住者ということもあって、都心の大学や著名校の人气が高く、ブースによっては午前中から行列が絶えないところもあった。来場した学生に話を聞いてみると、「何が勉強できるのか」という勉学の目的に加え、学費の安さや奨学金をもらえる可能性、アルバイト紹介の有無を、学校選びのポイントとして重視している人が多く見受けられた。一方で、複数の私大関係者によれば、志望校や勉強したい分野がすでに固まっている学生からは、「留学生入試の内容や競争率、難易度など、出願を前提にした相談が多かった」という。全般的に、首都圏の大学に比べ地方大学のブースを訪れる学生は少なかったが、中部地区の私大関係者は、「東京という『地の不利』を考えれば、まだいい方ではないか。会場が大阪になれば、逆に名古屋も含め地方大学の方が、来場者に身近なイメージを持ってもらえるのでチャンス」と巻き返しを誓っていた。

## 自然美が多く残るヒマラヤの国

# ネパール

ギミレ・ビザル&プリ・シェルパ

はじめまして、ネパールから来ましたギミレ&プリです。四日市大学での初めてのネパールの留学生ということで、皆さんにネパールを簡単に紹介したいと思います。

ネパールは、世界最大の自然博物館です。北は世界最高峰のエベレスト (8848m) を含む 8000m 級の山が 8 座も存在するヒマラヤ山脈に囲まれ、南は海拔 60m タライ平野のジャングルまで、南北わずか 150km の狭い国土 (147181 平方 km) の中でも大きく雰囲気が変わります。1 年に 4 つの季節があり、亜熱帯から寒帯までの複雑な気候で、独特の地形、標高差が生態の多様性をもたらし、絶滅に瀕したものもありますが動植物相の宝庫です。

独自性の豊かな宗教、伝統、文化、そして荘厳なヒマラヤ山脈に関する伝説や神話も多くあります。あらゆる所に存在するヒンドゥー教寺院や仏教寺院、仏塔等、人々の信仰深さは、訪れた者全ての心に神聖さを吹き込む事でしょう。ネパールでは、大きく分けておよそ 36 民族、地形の多様性から、固有の文化を持ち、独自の言語、宗教を持ちます。どの民族でも礼儀正しく言葉を使い、親切である事はネパールの国民性です。何重にも重なる丘の峰々に延々と広がる細かく切り開かれた段々畑、多くの川や滝、森の中の野生動物や植物。花や鳥の歌声。見る者を魅了する国ネパールです。

皆さん、ぜひ観光で私たちの国ネパールを訪れてください。



## 日本語能力試験 1 級合格を目指して!

わたしたち留学生は、自分の将来を真剣に考えるならば、かならず「日本語能力試験 1 級」を取得していなければいけません。大学院に進学するにしても、日本企業に就職するにしても、または、帰国して母国で就職するにしても、必ず「日本の大学を卒業したならば、日本語能力試験 1 級は取得しましたね。」と聞かれるからです。日本に 4 年以上もいて、日本語の資格を持っていなければ、逆に「4 年間は何をしていたの?」と聞かれるからです。さあ、みんな!「来年でいいやー」と思っちゃダメ!今なら間に合います。

★試験日: 2007 年 12 月 2 日 (日)

★出願期間: 2007 年 7 月 2 日 (月) から 9 月 11 日 (火)  
今すぐ留学生支援センターで願書 (500 円) を買ってください。そして、下記の HP アドレスにアクセスしましょう。

<http://www.bl.mmtr.or.jp/~idu230/his/wa/tesuto/yosomenu.htm>

<http://www.n-lab.org/library/mondaidb/info.html>

この HP には、日本語能力試験の対策、語彙問題、聴解問題、文法問題あわせて約 2500 問が載っています。ある先輩の一人は、この 2500 問を 2 回繰り返して、勉強しました。そして 1 級に合格しました。まずは願書を購入してください。そしてすぐに願書を郵送しましょう。

## ＝ 第4回留学生日本語弁論大会 ＝

下記のとおり、今年も「留学生日本語弁論大会」を開催します。当日は出場者のみなさんが、日頃の留学生活において、感じていること考えていること、母国と日本の違い、またこれからの日本社会に対する提案などを発表します。交流をかねて、県内の大学からの参加も予定しています。ぜひ、応援しに来てください。

■開催日時:2007年10月2日(火)14:40～

■場 所:311 教室

■問合わせ:四日市大学留学生支援センター



## ＝ 北海道研修旅行のお知らせ ＝

北海道の面積は約834万haで、オーストリアの面積とほぼ同じです。日本の約22.1%を占め、都道府県別で1位。そして、北海道といえば、やはり大自然。この広大な自然のエリアには、野生動物が息づく天然林、神秘的な湿原、峻厳な山岳など、変化に富む景観に恵まれています。そんな日本最先端のビッグ・アイランドに、みんなと一緒にいきたいなー。観る。感じる。味わう。北海道を旅すれば、大きな驚きや感動の連続です。興味のある方は、お早めにお申してください。詳細は留学生支援センターまで・・・

私たちはいろいろな目標を持って、日本にきました。日本生活の中に、喜、怒、哀、楽たくさんあります。このコラムはあなたの思い付いたことを記録しています。

## \* \*\* コラム \*\*\*\* \*

環境情報学部では、環境問題について自然と人間、社会の相互関係の視点として、多角的な知識と技術を学ぶことができます。二年生に入り私は千葉先生のセミナーを選びました。コンピュータが苦手だった私も今ではコンピュータハードウェアの組み立てや、コンピュータの実際操作の能力もスキルアップしました。今では、コンピュータの授業が大好きです。

環境情報学部環境情報学科3年 劉 藍



世界経済の発展に伴って、いろいろな問題が起こっています。環境問題を始め、非常に厳しい状態になっています。温暖化対策でそれぞれの国の政府が検討しています。だから、私達も、地球のため、自分のため、地球温暖化防止のために環境を守りましょう。ゴミの減少や対策に協力するなど問題に対して力の及ぶ限り、行動をしましょう。

総合政策学部総合政策学科3年 王文娟



# JC 青年の船 —とうかい号

# サイパンの旅



私は6月2日から9日まで第34回JC 青年の船—とうかい号の国際代表青年として、サイパンに行ってきた。今振り返って思い出すと、サイパンの旅は現実ではなく、夢みたい。一週間という短い期間であったが、私にとって、今までの人生の中で一番内容の濃いそして意義のある一週間だった。

今回とうかい号のテーマは「Heart to Heart ひと・あなたにつながる心の海へ」。正直言って、最初応募したときには、遊びに招待されたと思っていたので、このテーマの意味がよく分からなかった。6月2日の名古屋港での出航式のとき、また気楽だったが、数え切れないほどのテープを投げ、たくさん人の見送りの中、「頑張ってこいよー」という声援で、汽笛が鳴って「ふじ丸」が出航したとき、この盛大な場面に驚き、感動した。そして、これからどんな旅が待っているだろうという不安を感じた。一週間と言っても、実際サイパンでは一泊二日だった。ほかの時間は船での研修とチームアワーが主に行われた。研修の主要内容は「想像力」、「行動力」、「責任力」を心と身体を通して学ぶ。チームアワーを説明するためにチームについて説明すると、今回一般乗船者として、船に乗った400名をA、B、C、Dの4グループに分け、その下に各4チームある、つまり16チームになっている。チームアワー<sup>やしな</sup>というのは、チーム単位でフェスティバルにむけチームワークを養いダンスや歌、演劇などアイデアをだし練習を行う時間である。全然知らないひとばかりなので、最初はちょっと緊張したが「とうかい号」という、ある意味異様な空間で、すぐにみんなが一つになって、性別も関係なく、仲間になった。途中、意見が合わないこともあったが、みんなが素直に自分の意見を話し、素直に他人の意見を聞くこ

とで、大切な友情ができた。チームアワーのあと、ルームアワーもこの盛り上がりが続いた。その結果、毎日、睡眠時間が足りない。それにしても、楽しいから、睡眠に時間を使いたくない。この一週間ほぼ全員が興奮状態になっていた。喜、怒、哀、楽を素直に表現できることは非常に人間らしい。日常生活では本当に体験できない、言葉では表現できない、一生忘れられない貴重な経験だった。あっという間に、サイパンに着いた。サイパンの海はすてききれいだった。海の色は青いというイメージがあったが、サイパンの海は青い以外、ブルー、白色もある。砂は黄色じゃなく、白い色だった。本当に美しい景色だった。

ところで、400人の一般乗船者のうち16名は、私のような国際代表青年であり、他は全部日本人。国際代表青年の役割は自分の国や文化などをみんなに紹介をする。文化や考え方の違いは、時々感じたが、素直な気持と他人を尊重するのは一番大事だと感じた。国際代表青年として、もっと多くの人が自分の国の文化や伝統を了解するという意識をもって自分の言動を注意しながら行動しなければならないと思った。

国境に関係なく、たくさんのすばらしい友人が出来た。自分の気持は言葉で伝わるものでなく、心で伝えるもの。これが、とうかい号の本来の意味だと考えた。とうかい号で一番深く印象に残ったことは感謝の心を持つこと。船を降りてから、二十八年間育てくれた母に電話をして、「ありがとう。」と伝えた。そして、この機会を利用して、ゼミの黒島先生、留学生担当の西牧先生をはじめとしてお世話になった先生、そしてみんなに、「この4年間、ありがとう！」と伝えたい。

環境情報学部MD学科4年 馬暁セイ



ふじ丸～出航！



平和を祈る



私の仲間達—うわさのC4